

若草進路便り

発行／2024年3月14日 発行者／高知県立高知若草特別支援学校進路部 第5号

穏やかな陽射しに、春の訪れを感じる頃となりました。

高等部3年生、中学部3年生、小学部6年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。それぞれの進む道を前に、新たな気持ちで春を迎えられていることでしょう。

本校を離れても、今後の進路や自立の分岐点で不安に思う時・情報が知りたい時など、いつでもお声がけください。お待ちしております。

さて、在校生も1年の締めくくりの時期を迎えています。集団の中で日々経験を積み重ねてきた小学部の皆さんも、中学・高等部と学年が進むにつれ、学校を巣立ってからの長い人生について考える機会が増えてきます。自分は何ができるのか、どんな仕事ができるのか、ヒント・きっかけはいろんなところに転がっているかもしれません。

まだコロナやインフルエンザなど感染症の流行はありますが、その影響で事業所の利用者の状況が変わり、空き情報がちらほら聞こえてきています。また、今年度は少しずつ職場見学・実習・研修などの活動が行えるようになってきました。進路に関する情報については、随時お知らせしていきたいと思います。また、希望に応じて個別にも対応しますので、いつでもご相談ください。

学年の締めくくりであるこの時期に自分自身で、また家庭の方と一緒にこれからのことについて考える機会を持ってほしいと思います。(年度初めに進路希望調査を予定しています。)

【就労アセスメント研修】(高等部教員対象) 令和6年2月16日(金)



卒業に向けて直接かかわる高等部の教員対象に、キャリア教育の研修として、

「就労アセスメント」についての研修を行いました。講師として、高知ハビリテーリングセンターの方々(副センター長、就労相談部・サービス管理責任者、就労相談支援部長の3名)をお招きし、お話を伺いました。

この施設はB型、移行就労支援、自立訓練など多様な事業所をあわせもっているため、就労アセスメントを含む実習なども多く受け入れられています。

就労アセスメントは、働く意欲のある障害者が意思決定支援を推進するための方策のひとつで、実習(作業)を通して第三者に本人の強みや適性、つまずきなどを評価してもらう支援政策です。一般就労可能な人材が、進路選択の中で周囲から福祉就労を進められたり、本人の課

題を無視して一般就労したりした結果、本人がつらくなって離職してしまうというような就労後のミスマッチを防ぐために始まったもので、本人の不利益にならないような進路選択を提案するための資料となります。

本校でも働きたい意欲をもつ生徒に対し、就労アセスメント評価を含めた現場実習を行っています。早いうちに評価していただくことで、自分の強み、弱みを客観的に評価できるので、進路選択の一助になります。

今回は本校高等部生徒の実習のふりかえりをもとに、より良い進路選択に向けて、学校で取り組む支援の在り方、事業所との連携についてグループに分かれて具体的に話し合うことができました。

今回の研修で学んだことを、高等部全体で各生徒の進路支援につなげていきたいと思っております。

【次年度に向けて】

◎ 進路希望調査(全校生対象)

年度初めに提出していただきます。5年度の調査用紙をお返ししますので、変更・追記のうえご提出ください。

◎ 現場実習について(高等部2・3年生対象)

1学期は5月下旬～6月上旬、2学期は10月下旬～11月上旬頃を予定しています。

保護者の皆様には実習先への送迎のお手伝い等のご協力をお願いします。

ひとり1～3日間、就労アセスメントを含む場合は1週間程度になります。

高等部1年生は職場見学を行う予定です。また、他学部・他学年の事業所見学も随時行いますので、ご希望・ご相談等ありましたら担任又は進路部にお声がけください。

今年度最終号となります。
ご意見・ご感想、今後のご希望等がございましたら、
お聞かせください。今後に活かして参りたいと存じます。
一年間、ありがとうございました。

進路部

